

SIMPLE RAZOR

Numéro de publication: JP2000279224

Date de publication: 2000-10-10

Inventeur: MIZUSHIMA HIROSHI; YAMANAKA NOBUO

Demandeur: YOSHINO KOGYOSHO CO LTD

Classification:

- internationale

**A45D27/24; B26B21/04; B26B21/52; A45D27/00;
B26B21/00; (IPC1-7): A45D27/24; B26B21/04;
B26B21/52**

- européenne

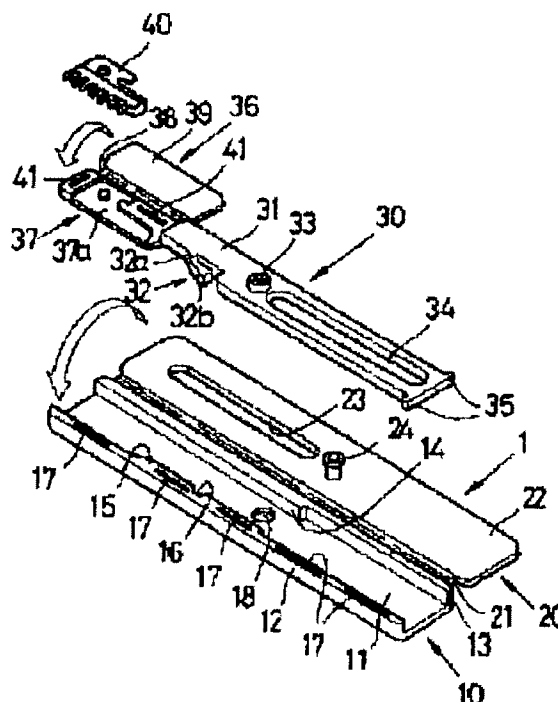
Numéro de demande JP19990092496 19990331

Numéro(s) de priorité: JP19990092496 19990331

Signaler une erreur concernant les données

Abrégé pour JP2000279224

PROBLEM TO BE SOLVED: To improve safety by shortening the length of a razor more during its nonuse compared with that during its use. **SOLUTION:** A simple razor is provided with a cylindrical pattern member 1 rectangular in cross section in a front end surface opening long in a back and forth direction, and a member 30 with a cutter having a sliding plate 31 housed in the pattern member to be freely pulled out from the front end opening surface, the cutter tip thereof being exposed from one of the left and right side faces of the front part of the sliding plate. A guiding oblong hole 23 is bored in a back and forth direction in the front half of a pattern member top board 22, a guide 33 is protruded from the middle upper surface of the sliding plate 31 so as to freely slide in the guiding oblong hole 23 with its upper end part exposed, an engaging groove 16 is formed in one inner surface of the middle part of the left and right side plates of the pattern member, and when the guide 33 is positioned in the rear end of the guiding oblong hole 23, an elastic finger piece 32 with a catch elastically fitted in the engaging groove 16 is protruded so as to be pulled out by the forcible advancing of the guide 33 from the side face of the sliding plate 31.



Les données sont fournies par la banque de données esp@cenet - Worldwide

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-279224

(P2000-279224A)

(43)公開日 平成12年10月10日(2000.10.10)

(51)Int.Cl.⁷

識別記号

F I

テ-マ-コード*(参考)

A 4 5 D 27/24

A 4 5 D 27/24

B 2 6 B 21/04

B 2 6 B 21/04

Z

21/52

21/52

A

審査請求 未請求 請求項の数1 O L (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平11-92496

(22)出願日 平成11年3月31日(1999.3.31)

(71)出願人 000006909

株式会社吉野工業所

東京都江東区大島3丁目2番6号

(72)発明者 水嶋 博

東京都江東区大島3の2の6 株式会社吉野工業所内

(72)発明者 山中 伸夫

東京都江東区大島3の2の6 株式会社吉野工業所内

(74)代理人 100068157

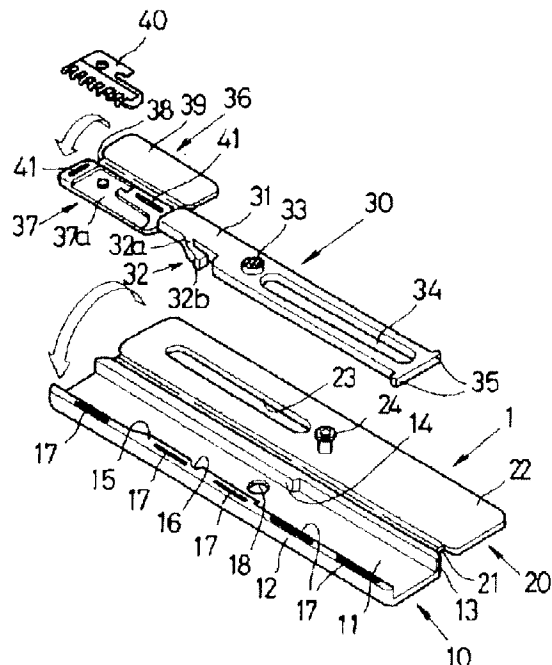
弁理士 今岡 良夫 (外1名)

(54)【発明の名称】 簡易カミソリ

(57)【要約】

【課題】カミソリの不使用时の長さを使用時に比べて短くし、かつ安全性の向上を図る。

【解決手段】横断面長方形で、前後方向へ長く設けた前端面開口に筒状をなす柄部材1と、該柄部材内へ収納されて前端開口面から前部の出入が自在に設けた摺動板31を有し、摺動板の前部の左右側面の一方から刃先を露出する刃付き部材30とからなり、柄部材頂板22の前半部へ案内長孔23を前後方向へ穿設し、摺動板31中間部上面からは、上端部を露出させて案内長孔23内へ摺動自在に案内子33を突出し、柄部材左右側板の中間部の一方内面に係合溝16を穿設する共に、案内子33が案内長孔23後端に位置したとき、係合溝16内へ弾性嵌合する爪付きの弾性指片32を、摺動板31の側面から案内子33の強制前進によって拔出し可能に突出させた。



【特許請求の範囲】

【請求項1】左右方向断面は横長の長方形状で、前後方向へ長く設けた前端面開口の筒状をなす柄部材1と、該柄部材内へ収納されて上記前端開口面から前部の出入が自在に設けた摺動板31を有し、該摺動板の前部の左右側面的一方から刃先を露出する刃付き部材30とからなり、

上記柄部材頂板22の前半部へ案内長孔23を前後方向へ穿設し、

上記摺動板31中間部上面からは、上端部を露出させて案内長孔23内へ摺動自在に案内子33を突出し、

上記柄部材左右側板の中間部の一方内面に係合溝16を穿設する共に、案内子33が案内長孔23後端に位置したとき、上記係合溝16内へ弾性嵌合する爪付きの弾性指片32を、上記摺動板31の側面から案内子33の強制前進によって拔出し可能に突出させたことを特徴とする簡易カミソリ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は筒状の柄部材に刃付き部材を収納した簡易カミソリに関する。

【0002】

【従来の技術】眉毛のトリミング等に使用するカミソリとして、柄の先端に刃を有し、不使用時に、紙や合成樹脂からなるキャップをかぶせるものが知られている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】この種のカミソリは化粧品と共にバッグ等に収納して持ち運ぶことが多いが、従来のカミソリは単に刃にキャップをかぶせているに過ぎず、使用時と不使用時とでは長さが変わらないため、特にバッグが小さい物では収納に多少の不便があった。また、キャップの取付けがゆるい場合には、バッグ内で、或いは子供の不用意な取扱いによりキャップが外れるおそれがあり安全性において必ずしも十分なものとはいえなかった。

【0004】本発明は刃付き部材を柄部材内へ収納させることにより、使用時に比べて長さを短くし、かつ安全性の向上を図ろうとするものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】第1の手段として、横断面長方形状で、前後方向へ長く設けた前端面開口に筒状をなす柄部材1と、該柄部材内へ収納されて上記前端開口面から前部の出入が自在に設けた摺動板31を有し、該摺動板の前部の左右側面的一方から刃先を露出する刃付き部材30とからなり、上記柄部材頂板22の前半部へ案内長孔23を前後方向へ穿設し、上記摺動板31中間部上面からは、上端部を露出させて案内長孔23内へ摺動自在に案内子33を突出し、上記柄部材左右側板の中間部の一方内面に係合溝16を穿設する共に、案内子33が案内長孔23後端に位置したとき、上記係合溝1

6内へ弾性嵌合する爪付きの弾性指片32を、上記摺動板31の側面から案内子33の強制前進によって拔出し可能に突出させた。

【0006】

【発明の実施の形態】以下、本発明に係る簡易カミソリの実施の形態を図面を参照しながら説明する。1は柄部材で、本体部10と、該本体部上端面を閉塞させる頂板部20とからなる。本体部10は、前後方向へ長い底板11の左右両側縁から側板12、13を起立してコ字状板を形成し、該コ字状板の右側板13内面の前半部に前後方向への第1係合突条14を、かつ左側板12内面の前後方向中間部に前後方向への第2係合突条15を、それぞれ形成すると共に、該第2係合突条15の前後方向中間部に係合溝16を形成する。該係合溝の左右両側面は左右方向外方へ拡開させて傾斜面に形成する。また、第2係合突条15の前端面は、後述の爪付きの弾性指片32が乗上げ可能なように前方へ傾斜させる。

【0007】なお、左側板12の上面に複数の接着用突条17を形成する。また、第1係合突条14と第2係合突条15との両後端面はコ字状板の前端面から同一の距離に位置する。さらに、第1係合突条14と第2係合突条15との両後端部間の底板11部分に透孔18を穿設する。

【0008】20は頂板部で、本体部10の右側板13上端から薄肉ヒンジ21を介して頂板22を突設し、該頂板の前半部へ第1の案内長孔23を前後方向へ穿設する。また、該案内長孔より後方頂板22部分下面から外向きフランジ付きの嵌合筒24を垂下し、該嵌合筒を後述の第2の案内長孔34を挿通させて透孔18内へ嵌合させることにより外向きフランジを底板11下面へ係合させる。さらに、頂板22の左側縁を接着用突条17が形成された左側板12上面へ超音波溶接で接着させる。

【0009】30は刃付き部材で、柄部材1内へ前後方向に摺動自在に嵌合させた摺動板31の前後方向中間部左側縁を、次述の爪付きの弾性指片32を残して切除する。該弾性指片は切除部の左側面から後斜め外方へ拡開する第1指片部32a後端から第2指片部を後方突設して、該第2指片部の後方左側面から爪32bを外方へ突設し、かつこの爪の前端面を後方へ傾斜させて第1の係合溝16へ係合させる。

【0010】また、爪付きの弾性指片32より後方摺動板31部分上面から、上端部を露出させて第1の案内長孔23内へ摺動自在に案内子33を突出する。さらに、摺動板31の後半部に前後方向への第2の案内長孔34を穿設して、該案内長孔へ嵌合筒24を摺動自在に挿通させる。案内長孔34へ挿通させた嵌合筒24は、前述のように透孔18内へ嵌合させてその下端を底板11下面へ係合させる。さらにまた、摺動板31後端の左右両部から、第1係合突条14と第2係合突条15とのそれぞれの後端面へ係合自在な係合突起35を左右外方へ突

【図1】

